

### 地域の茶の間「遊学館」

平成17年7月にスタートした「遊学館」は、「みんなで遊び、そこで学ぼう」という願いを込めて川下の商店街のビルの1室に名づけられた名



#### 【みんなのお茶の間「くるくる」】

- 場所 白石区本通8丁目5-17 土橋さん宅
- 日時 毎週火曜・金曜 午前10時～午後3時
- 参加費 お茶とお菓子代として 夏季100円、冬季150円 昼食はお弁当を持参するか、もしくは取り寄せ。

この「遊学館」は、地域で「気軽に仲間づくりが出来る場所があれば」という話が出たのがきっかけで活動が始まりました。

「遊学館」の活動は、多岐にわたっています。「料理サロン」「囲碁将棋クラブ」「パソコンクラブ」など、多くの目的を持った人々が「遊学館」には集まっています。

代表の島田信也しまたのふみやさんは、今後の活動について「個々の活動を充実させていきたい」。また「1回の開催に集まれる人は限られている。『遊学館』での活動は、毎週のように行っているので、多くの人に活動を知ってもらい、参



#### 【地域の茶の間「遊学館」】

- 場所 白石区川下3条7丁目1-33緑香ビル1階
- 日時 (要電話申込) 「囲碁将棋クラブ」 毎週水曜 午前10時～午後6時 「パソコンクラブ」 第1・3土曜 午後1時30分～3時30分 「料理サロン」 第1・3金曜 午後6時～9時
- 問い合わせ先 北東白石福祉のまち推進センター事務局 ☎876-3833

### 生きがい・サロン・ポニー

「生きがい・サロン・ポニー」は、元クリーニング店だった一軒家を借りて開かれています。

このサロンは、女性サークル「しろいしポニー」のメンバーが楽しみながら地域の役に立ちたいと町内会の協力を得て始めました。

取材に訪れた日、「茶の間」を感じさせる温かい言葉が聞

加してもらえようようにしたい」と話していました。

### 「茶の間」をふりかえって

こえてきました。

「退院おめでとう。赤飯炊いたから食べて」「(病気になるって)カラオケが歌えなくなつたのは、残念だけど、みんなでもたおしゃべりが出来るようになったてよかったね」。

会長の山口千明やまぐちちあきさんは「公開サミットに出て、うちの活動をみんなに知ってもらいたいと思います。これからは、さまざまの人が自由に参加できるようにしていきたい」と今後の抱負を話していました。

「茶の間」は、現代の日本



#### 【生きがい・サロン・ポニー】

- 場所 白石区本通4丁目北3-7 細川さん宅
- 日時 毎月第1木曜 午前10時から昼過ぎぐらいまで
- 参加費 お茶とお菓子代として200円

が抱える高齢者の孤独や子育て世帯の不安の解消などといったさまざまな問題を解決するための場として広まりつつあります。

今回紹介した「茶の間」に共通するのは、いつも「笑顔」があるということでした。小さな子どもからお年寄りまで、誰でも自由に時間を過ごせ、あたたかい雰囲気があります。

地域では、福祉のまち推進センターが行っている「ふれあい・いきいきサロン」など地域の人々が集えるさまざまな場づくりが進められています。こうした活動が、さらに広がったとき、札幌市はより住みよい街になるのではないのでしょうか。